

野菜情報

<No.14>

J A 鹿 児 島 県 経 済 連

園芸事業部 野菜振興課

令和8年7月28日（火）

項目 品目	先週の販売実績			現在の販売状況と今後の販売見通し	販売計画 トン	本年累計実績(7/27販売現在)		
	7／21～7／25					数量	進捗率	単価
	区分	数量(トン)	単価(円/kg)			トン	%	円/kg
野菜全体	本年 前年	515 445	426 395	野菜全般に入荷量多い中ではあるが、連日の高温や干ばつの影響により品目によっては品質の低下等みられ、出方の鈍いものもみられる。量販店の来店客数についても高温の影響から客足鈍く、特に煮炊き商材については荷動きが低下している。今後も引き続き全国的な高温が続く予報から入荷動向は不安定となることが予想され、品目によって販売状況にも差がみられる見通し。	112,485	90,240	80%	314
サラダごぼう	本年 前年	63 58	560 562	本県産サラダごぼうおよび群馬県産の泥つきごぼうが入荷の中心。高温により煮炊き商材の荷動き鈍く、市場在庫を抱えながらの販売となっている。本県産に関しては、天候や害虫の影響から品質面に影響が出ており、出荷量はやや減少となった。今後も厳しい販売環境の中、売り込みもかけながらの販売となる見通し。	2,150	1,541	72%	598
ゴーヤー	本年 前年	58 46	326 309	九州産および群馬県産など、全国的に露地作の出荷ピークが重なり、潤沢な入荷が続き、相場を下げての販売となっている。増量に合わせて売場の拡大を図っているが、流通在庫を抱えながらの販売となっている。今後も潤沢な出回りが継続の見通しの中、スタミナ野菜としてさらなる荷動きの活性化に期待したい。	900	558	62%	456
オクラ	本年 前年	99 84	882 818	本県産含む、九州産地中心の入荷。露地作のピークに伴い、入荷量は増量傾向、相場を下げながらの販売となった。末端売価も下がり、気温高により荷動きは回復傾向ながらも潤沢な入荷が続いており、弱含みでの販売展開。今後は干ばつの影響が心配される中、選果選別の徹底をおこないながら売り込みを継続していく。	1,550	921	59%	1,058

《行事予定》

- 7/28（火） 全県新ごぼう反省会（JA会館1001会議室） 13：30～
- 7/29（水） 全県白ねぎ反省会（JA会館701会議室） 13：30～
- 7/30（木） 全県きゅうり反省会（JA会館701会議室） 15：00～
- 7/31（金） 全県ゴーヤー中間検討会（JA会館1002会議室） 12：30～
- 全県ピーマン反省会（JA会館1001会議室） 15：30～